

## 子どもの学びから家庭のごみ減量・分別を広げたい！

**テーマ名** 子どもの環境学習を通じたごみ減量・分別促進に向けた効果的な周知啓発

**希望する提案のイメージ** ・子どもが楽しみながらごみ減量や分別の大切さを学び、家庭や地域にも行動が広がるような啓発活動やイベント  
・子どもが「楽しい」「やってみたい」と感じる体験型・参加型の工夫を取り入れ、家庭でのごみ減量行動につながる仕組み

**提案者側のメリット** ・市と連携した環境教育・社会貢献活動の実績づくり  
・企業の SDGs・CSR 活動の推進  
・子ども・子育て世帯への企業認知向上  
・市の広報媒体(広報紙、ホームページ、SNS 等)での情報発信

**概要** 本市の喫緊の課題であるごみ減量は、市民一人ひとりの意識醸成や行動変容が重要であり、幼少期からごみ問題を学び考えることが大切である。

市では市政出前講座などを通じ普及啓発に努めているが、子ども世代にリーチできていない現状にあるため、子どもが楽しみながらごみ問題を学び、子どもを通じた親世代も含め、ごみ減量や適正分別による資源化の推進につなげることを目的とする。

**市の現状・課題** 東日本大震災以降、本市のごみ排出量が増加し、平成 27 年度には人口10万人以上の自治体中ワースト1位となって以降、ごみ減量や資源化の推進に取り組むも、全国平均より2割多い状況にある。そのため「ごみ減量大作戦」や「キエーロによる生ごみゼロチャレンジ」、市政出前講座など各種施策を実施しているが、市民に対し、ごみ減量や適正な分別に関する意識や理解が十分に浸透しているとは言い難い状況にある。

特に幼少期からの意識付けが重要である一方、ごみ問題を自分ごととして捉える機会が少なく、学校における環境教育の機会も限られていることが課題。

**留意点・制約等** 現時点で予算化の予定はなし。

**募集期間** 随時

**担当部署** 所属名:環境部 ごみ政策課 ごみ政策係  
**(問い合わせ先)** 電話:024-525-3744  
mail:seisou@mail.city.fukushima.fukushima.jp